

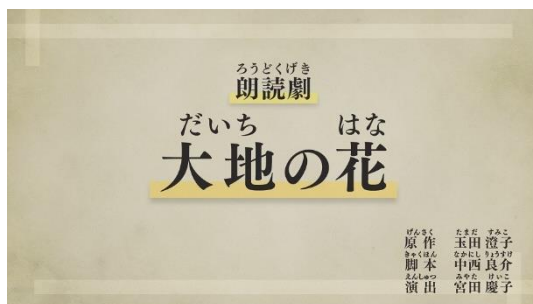
## 《東京 西新宿・平和祈念展示資料館》

ソ連軍の侵攻による避難、過酷な引揚げを乗り越えて、満州から帰国するまでの戦争体験  
**7歳の少女の引揚げ体験を元にした、若年層対象の朗読劇「大地の花」**  
**3月30日(水)から、YouTubeチャンネルで初公開！**

平和祈念展示資料館

第二次世界大戦における兵士、戦後強制抑留者(いわゆるシベリア抑留者)、海外からの引揚げ者に関する資料を展示する平和祈念展示資料館(東京都新宿区西新宿)は、終戦当時7歳だった引揚げ体験者の著書を原作とする朗読劇「大地の花」を、平和祈念展示資料館公式 YouTube チャンネルの新しいコンテンツとして、春休み期間の本年(2022年)3月30日(水)から同チャンネルで公開します。視聴は無料です。

本作品は、小学校中学年(3年生・4年生)～10代の若年層が観劇することを想定して制作しました。



朗読劇「大地の花」のイメージ画像

朗読劇「大地の花」の原作は、開拓団として家族で入植した満州(現在の中国東北部)から、命からがら日本に引き揚げてきた玉田澄子(たまだ・すみこ)さんの過酷で壮絶な戦争体験を描いた自身の著書「大地の花」(春秋社、1999年3月発行)。

玉田さんは、1944(昭和19)年5月、岐阜県から満州へ渡り、1945(昭和20)年7月に父親が戦地に召集された直後の同年8月9日、ソ連軍による満州への侵攻を受け、避難を強いられます。終戦当時7歳の玉田さんは“母に捨てられたくない”という想いと「置いていかれたら死ぬんだよ、頑張れ」という母親の言葉に励まされ、母と兄妹と共に満州国内を逃避行中、生後間もない末妹を亡くします。親切な中国人の援助を受けながら帰国の日を待ち続け、終戦の翌年秋、満州のコロ島から博多港を経て、生まれ故郷の岐阜県に引き揚げました。



朗読劇の原作本「大地の花」

※玉田さんの戦争体験を原作とする公演は、2020年10月に続き、今回が2回目です。  
 公演の概要は、P3を参照してください。

朗読劇の演出は、演出家として翻訳劇、創作劇、ミュージカル、オペラなど多方面にわたる作品を手がける新国立劇場演劇研修所長の宮田慶子(みやた・けいこ)さん。宮田さんは、2018年から当資料館での新国立劇場演劇研修所によるリーディング公演で、3年連続、構成と演出を担当され、今回が通算で4作目の演出作品です。

※2018年～2020年に上演したリーディング公演の概要は、P3を参照してください。

脚本は、新国立劇場演劇研修所の修了生で、俳優としても活動する中西良介(なかにし・りょうすけ)さん。出演は、同研修所を修了した八幡みゆき(やはた・みゆき)さん、高(※1)倉直人(たかくら・なおと)さん、小比類巻諒介(こひるいまき・りょうすけ)さん、大久保真希(おおくぼ・まき)さん、宮崎隼人(みやざき・はやと)さんの5名の俳優が、朗読劇形式で上演します。(※1)俳優・高倉直人さんの「高」は「はしごだか」です。



1



朗読劇「大地の花」収録時の様子

## 【YouTube チャンネル新コンテンツ・朗読劇「大地の花」の概要】

作品タイトル	朗読劇「大地の花」
作品時間	約 30 分
公開先	平和祈念展示資料館公式 YouTube チャンネル <a href="https://www.youtube.com/channel/UCLrCfHRlshZcXbaKq3xuBTw">https://www.youtube.com/channel/UCLrCfHRlshZcXbaKq3xuBTw</a> ※公式 HP ( <a href="https://www.heiwakinen.go.jp">https://www.heiwakinen.go.jp</a> ) トップページの YouTube アイコンからアクセスできます。
公開開始日	2022 年 3 月 30 日 (水)
視聴料金	無料
主な登場人物	澄子 (すみこ・主人公、終戦当時 7 歳) 毅 (つよし・澄子の兄、終戦当時 12 歳) きぬ (澄子の母親) 五三 (ごぞう・澄子の父親) ニーヤ (母子たちを助けた中国人)
原作	玉田澄子 (たまだ・すみこ) 「大地の花」 (春秋社より)
脚本	中西良介 (なかにし・りょうすけ、新国立劇場演劇研修所第 10 期修了)
演出	宮田慶子 (みやた・けいこ)
照明	三澤裕史 (みさわ・ひろし)
音響	信澤祐介 (のぶさわ・ゆうすけ)
出演	八幡みゆき (やはた・みゆき、新国立劇場演劇研修所第 9 期修了) 高倉直人 (たかくら・なおと、新国立劇場演劇研修所第 10 期修了) ※「高倉」の「高」は「はしごだか」 小比類巻諒介 (こひるいまき・りょうすけ、新国立劇場演劇研修所第 11 期修了) 大久保真希 (おおくぼ・まき、新国立劇場演劇研修所第 13 期修了) 宮崎隼人 (みやざき・はやと、新国立劇場演劇研修所第 13 期修了)
制作	新国立劇場演劇研修所
企画	平和祈念展示資料館
一般の方からの問い合わせ先	平和祈念展示資料館 TEL: 03-5323-8709、公式 HP: <a href="https://www.heiwakinen.go.jp">https://www.heiwakinen.go.jp</a>

### ■原作者・玉田澄子さんの略歴 ※「大地の花」発行時(1999 年 3 月)現在

1938(昭和 13)年	岐阜県に生まれる。
1944(昭和 19)年	家族とともに旧満州入植。
1946(昭和 21)年	旧満州より引き揚げ。
1993(平成 5)年	日中友好ボランティア組織「微風の会」設立。
現在	同人誌「小品」代表。「微風の風」事務局長。 NHK 文化センター(名古屋・岐阜)講師。

## ■新国立劇場 演劇研修所の協力を得て、上演および公開した作品の概要

### ①【館内・有観客公演】リーディング公演「ソ連軍との交戦とシベリア抑留」

※「秋の特別イベント」の一環として実施

公演日:2018(平成30)年11月11日

会場:平和祈念展示資料館内 ビデオシアター

原作:西川 勝(平和祈念展示資料館の労苦体験手記集「平和の礎」より)

構成・演出:宮田慶子(新国立劇場演劇研修所長)

協力:新国立劇場演劇研修所

料金:無料

### ②【館内・有観客公演】リーディング公演「ソ連軍との交戦とシベリア抑留」

※「秋の特別イベント」の一環として実施

公演日:2019(令和元)年11月3日

会場:平和祈念展示資料館内 ビデオシアター

原作:西川 勝(平和祈念展示資料館の労苦体験手記集「平和の礎」より)

構成・演出:宮田慶子(新国立劇場演劇研修所長)

協力:新国立劇場演劇研修所

料金:無料

### ③【オンライン公開】リーディング公演「和良村分村開拓団・苦渋の道」

※「戦後75年企画 秋のオンライン演劇公演」の一環として実施

公開日:2020(令和2)年10月17日

原作:玉田澄子(平和祈念展示資料館の労苦体験手記集「平和の礎」より)

構成・演出:宮田慶子(新国立劇場演劇研修所長)

協力:新国立劇場演劇研修所

視聴方法:平和祈念展示資料館公式 YouTube チャンネルで3か月間配信

視聴料金:無料

## ■脚本、演出、出演者のプロフィール

脚本:中西良介(なかにし・りょうすけ)



1991年12月6日生まれ。東京都出身。

新国立劇場演劇研修所第10期修了。

演劇ユニット「Triglav(トリグラフ)」「アヴァンギャルド×コンプレックス」のメンバー。  
翻訳作品に『The Collection』『THE PILLOWMAN』『ハツカネズミと人間』  
『The Kitchen』。

近年の出演作品に『ピサロ』『Crimes of the heart -クライムス オブ ザ ハート-』  
『The Kitchen』『悪魔と永遠』など。

新国立劇場では『赤道の下のマクベス』、新国立劇場演劇研修所では『マニラ瑞穂記』に出演。

演出:宮田慶子(みやた・けいこ)



演出家。

劇団青年座所属。翻訳劇、創作劇、ミュージカル、オペラと多方面にわたる作品  
を手がけ、演劇教育や日本各地での演劇振興・交流にも積極的に取り組む。  
(公社)日本劇団協議会常務理事、日本演出者協会副理事長。

2010年～2018年、新国立劇場演劇芸術監督。紀伊國屋演劇賞個人賞、芸術  
選奨新人賞、毎日芸術賞千田是也賞、読売演劇大賞最優秀演出家賞など受賞  
多数。

2016年4月～、新国立劇場演劇研修所長。所長としての修了公演演出作品に  
『MOTHER－君わらひたまふことなかれ』『美しい日々』『るつぼ』『社会の柱』  
『マニラ瑞穂記』『理想の夫』。

出演者:八幡みゆき(やはた・みゆき)



1990年1月24日生まれ。熊本県出身。  
新国立劇場演劇研修所第9期修了。  
現在、野田秀樹氏が指揮する東京演劇道場の門下生でもある。  
主な出演作品に『私はだれでしょう』『関数ドミノ』『父の黒歴史』『阿呆浪士』  
『Navy Pier～埠頭にて～』、映画「閉鎖病棟～それぞれの朝～」など。  
日本大学藝術学部演劇学科卒。

出演者:高倉直人(たかくら・なおと)



1992年1月18日生まれ。福岡県出身。  
新国立劇場演劇研修所第10期修了。  
主な出演作品に『COUPLES 冬のサボテン』『きらめく星座』など。  
新国立劇場では『オレスティア』、新国立劇場演劇研修所では『るつぼ』  
『理想の夫』、朗読劇「少年口伝隊一九四五」「ひめゆり」に出演。  
2018年、平和祈念展示資料館リーディング公演『ソ連軍との交戦とシベリア抑留  
記』に出演している。  
九州大谷短期大学卒。  
※「高倉」の「高」は「はしごだか」です。

出演者:小比類巻諒介(こひるいまき・りょうすけ)



1992年2月19日生まれ。青森県出身。  
新国立劇場演劇研修所第11期修了。  
近年の出演作品に『COCOON 月の翳り星ひとつ』『カリギュラ』など。  
新国立劇場では『ヘンリー五世』、新国立劇場演劇研修所では『社会の柱』  
『理想の夫』、朗読劇「ひめゆり」「少年口伝隊一九四五」に出演。  
2018年、平和祈念展示資料館リーディング公演『ソ連軍との交戦とシベリア抑留  
記』に出演している。

出演者:大久保真希(おおくぼ・まき)



1996年11月29日生まれ。大阪府出身。  
新国立劇場演劇研修所第13期修了。  
主な出演作品に『人類史』『オール・アバウト・Z』などがある。

出演者:宮崎隼人(みやざき・はやと)



1988年11月23日生まれ。岩手県出身。  
新国立劇場演劇研修所第13期修了。  
主な出演作品に『かまつかのオイディプス』『モジャ』『熱帯のアンナ』など。  
新国立劇場では『リチャード二世』に出演。  
新国立劇場演劇研修所では『マニラ瑞穂記』など。



## ※参考:「平和祈念展示資料館」施設概要



平和祈念展示資料館 入口

施設名 平和祈念展示資料館(へいわきねんてんじしりょうかん)  
英文表記 Memorial Museum for Soldiers, Detainees in Siberia, and Postwar Repatriates  
開館日 2000(平成12)年11月30日  
施設内容 兵士、戦後強制抑留者、海外からの引揚者に関する資料を展示  
所在地 〒163-0233 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33階  
TEL:03-5323-8709 FAX:03-5323-8714



アクセス  
・都営大江戸線「都庁前」駅 A6 出口から徒歩 約 1 分  
・東京メトロ丸の内線「西新宿」駅から徒歩 約 5 分  
・JR、小田急線、京王線「新宿」駅西口から徒歩 約 10 分

開館時間 9:30～17:30(最終入館 17:00)  
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝日の場合はその翌日、夏休み期間は除く)、年末年始、新宿住友ビル全館休館日

入館料 無料  
展示面積 約 460 m<sup>2</sup>  
施設構成 常設展示室(兵士コーナー、戦後強制抑留コーナー、海外からの引揚げコーナー) 企画展示コーナー、体験コーナー、情報メディアコーナー、図書閲覧コーナー、ビデオシアター

所蔵資料数 所蔵資料数:約 22,000 点、所蔵図書数:約 12,000 点  
常設展示資料数:約 400 点(グラフィックやジオラマ含む)、開架図書数:約 2,000 点

名誉館長 立正大学名誉教授・増田 弘(ますだ・ひろし)  
入館者数 約 92 万 7,000 人(2000 年 11 月 30 日～2022 年 2 月 28 日現在)  
平和祈念展示資料館 公式 YouTube チャンネル URL  
<https://www.youtube.com/channel/UCLrCfHRlshZcXbaKq3xuBTw>  
公式 WEB サイト URL  
<https://www.heiwakinen.go.jp>

### この件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

平和祈念展示資料館 広報事務局 担当:大嶋彰子  
大嶋携帯:090-1200-7900 E-mail:oshima.heiwakinen.pr@gmail.com  
住所:〒110-0015 東京都台東区東上野 4-20-1 TCCビル 4階  
クロスボーダー(株)内

または、平和祈念展示資料館(総務省委託) 広報担当:加藤 隆  
電話:03-5323-8711 FAX:03-5323-8714  
E-mail:info@heiwakinen.jp  
住所:〒163-0233 東京都新宿区西新宿 2-6-1 新宿住友ビル 33階